

## ジャーメン ジャクソン (アメリカ) (パート 1/2)

説明：

世界的に有名なスターである、マイケル ジャクソンの兄がどのようにイスラームに帰依したかを語る (パート 1)

より ジャーメン ジャクソン

掲載日時 07 Dec 2009 - 編集日時 07 Dec 2009

カテゴリ：[記事](#) > [新改宗者ムスリムの逸話](#) > [著名人](#)

いつそしてどのようにイスラームへの旅を始めたのですか？

それは1989年に、姉妹と共に中東の国々を回った時の帰途のことでした。

私たちはバーレーンに滞在中、暖かい歓迎を受けました。私はそこで何人かの子供たちと出会い、軽いおしゃべりをしました。私は彼らにいくつかの質問をし、彼らもまた私に素朴な疑問を投げかけました。この交流の間、彼らは私の宗教について質問しました。私は自分が、“キリスト教徒です”と言いました。私は彼らに、彼らの宗教が何であるのか尋ねました。少々の静けさが彼らを覆いました。それから彼らは声を一つにして、“イスラーム”と答えました。彼らの熱のこもった答えは、私を内面から揺るがせました。彼らは、イスラームについて私に語り始めました。彼らは私に、彼らの年にしては豊富な情報を与えてくれました。彼らの話し方からは、彼らがイスラームを大変誇りに思っていることが窺えました。これが私のイスラームへの第一歩だったのです。



子ども達のグループとのこの短い交流が、私をムスリム学者たちとのイスラームに関する真剣な長い会話へと導きました。私の考えの中に大きな波紋が広がりました。私は自分を何もなかったかのように慰めようとしたがうまくいかず、心はすっかりイスラームを受け入れてしまったというこの事実を、もはや隠すことが出来ませんでした。私はこのことを最初に、家族同様の親友であるクンバル アリーに打ち明けました。クンバル アリーは私を、サウジアラビアの首都リヤドに連れて行ってくれました。その頃私は、イスラームのことを余り知りませんでした。サウジアラビア人の家族と一緒に“ウムラ” [マッカへの小巡礼]をするためにマッカへと行くことになりました。そこで初めて私は、自分がムスリムになったことを公にしました。

ムスリムであると宣言した後はどのような気分でしたか？

イスラームに帰依し、私はまるで生まれ変わったかのように感じました。私はキリスト教では見つけることが出来なかった質問の答えを、イスラームに見つけました。特にキリストの生誕に関する質問に満足のいく答えを与えていたのはイスラームだけでした。初め

て私は宗教自体に納得させられたのです。私は自分の家族たちがこれらの真実を受け入れてくれるようにと祈りました。私の家族はエホバの証人として知られるキリスト教宗派の信者でした。その信仰では144,000人しか楽園に入る資格がありません。どうしてでしょう？それはいつも私を困惑させる信条でした。私は聖書、特にキング ジェームス版のそれが大勢の人によって編集されたことを知って驚きました。私はもし人間が何らかの住所目録を編纂して、それを神が書いたことにするのなら、なぜそれを完全な形で編集だろうと不思議に思いました。サウジアラビア滞在中、私はかつてのイギリス人気歌手で現在はムスリムである、ユースフ イスラーム(元キャット スティーブンス)のカセットテープを買う機会がありました。私はそこから、また沢山のものを学びました。

イスラームに帰依してアメリカに帰国した後、そこで何が起こりましたか？

私がアメリカに戻った際、アメリカのメディアはイスラームとムスリムに対して非常に悪い偽りのニュースを画策しました。ゴシップが私に浴びせられ、私の心は本当にかき乱されました。ハリウッドは何としてもムスリムの悪口を言いたいのでした。彼らはテロリストとしてでっち上げられました。キリスト教とイスラームの間には多くの意見の一致があり、クルアーンはキリストを高潔な預言者として述べています。それなのに、どうしてキリスト教国のアメリカが根拠のない噂をムスリムに向けるのか、と私は不思議に思いました。

このことは私を憂鬱にしました。私はアメリカのメディアによって描かれたムスリムの間違ったイメージを一掃するために全力を尽くそう、と自分の意思を固めました。私はアメリカのメディアが私のイスラーム改宗のニュースの情報を熟考せず、このように大声をあげて喚き叫ぶとは思いませんでした。事実それは、アメリカが大げさかつ過大に宣伝しているところの、表現の自由と良心の自由に完全に反していたのです。アメリカ社会の偽善は私の前に顔を出し、むき出しとなりました。しかしイスラームは私の多くの問題を解決してくれました。事実、私は文字通り、自分自身を一人の完全な人間として考えるようになりました。ムスリムになった後、私は自分の中に大きな違いを感じていました。それで私はイスラームで禁止されている全てのことを放棄しました。このことは私の家族にも面倒をもたらしました。つまり、ジャクソン家も共に転落させられたのです。私の家族の心配をより募らせるような脅迫の手紙なども殺到しました。

それはどのような脅迫ですか？

彼らはまず、私がイスラームの膝元に入ったことによりアメリカ社会と文化の敵意を煽り、その結果自ら他人と生きる権利を放棄してしまったのだ、と言いました。また、私たちはアメリカでのあなたの生活を耐えられないものにしてやる、などというものもありました。しかし私の家族は寛大であったことをここに告白します。私たちは全ての宗教を尊重していました。私たちの両親は私たちをこのように訓練し育てていたのです。それゆえ私は、ジャクソン家は大抵の宗教に属す人々と仲良くすることを楽しんでいる、とすることが出来るでしょう。これは彼らによって私が忍耐させられた訓練の結果です。

あなたの御兄弟のマイケル ジャクソンの反応はどうでしたか？

アメリカへの帰り道、私はサウジアラビアから多くの本を持ち帰りました。マイケル ジャクソンは自らの勉強のために、これらのいくつかの本を手に入れました。それ以前、彼の意見はアメリカのメディアのイスラームとムスリムに対する宣伝によって影響されていました。彼はイスラームに対して敵意を持っていたわけではありませんでしたが、特にムスリム

たちを気に入っているというわけでもありませんでした。しかしそれらの本を読んだ後、彼は沈黙を守り、ムスリムに対して何も言いませんでした。考えるに、多分イスラームの勉強の影響が彼のビジネスの興味をムスリムのトレーダーへと向けたのでしょう。現在、彼はサウジの億万長者ワリード・ビン・タラール王子と彼の多国籍企業における同等株主です。

先に、マイケル・ジャクソンはムスリムを嫌っている、と言われましたが、その後彼がムスリムになったという噂があります。事の真相を教えてください？

私の知る限り、少なくともマイケル・ジャクソンがムスリムを嫌っているなどと言ったことはないという事実を証言します。彼の歌も他人への愛というメッセージ伝えています。私たちは両親から他を愛するようにと習いました。彼のことをでっち上げるのは、攻撃的な人たちだけです。私がムスリムになった時でさえ色々ひどく言われたのですから、マイケル・ジャクソンに対してもそうならないことがあるのでしょうか？いずれにせよ、メディアはまだ彼に対して痛烈な批判などはしていませんが、彼はイスラームに幾分接近したことで脅されています。しかしマイケル・ジャクソンがイスラームに帰依すればどのようになるか、一体誰が知ることでしょうか？

## ジャーメン ジャクソン (アメリカ) (パート 2 / 2)

説明：

世界的に有名なスターであるマイケル・ジャクソンの兄がどのようにイスラームに帰依したかを語る (パート2)

より ジャーメン ジャクソン

掲載日時 06 Dec 2009 - 編集日時 07 Dec 2009

カテゴリ：[記事](#) > [新改宗者ムスリムの逸話](#) > [著名人](#)

他の家族はあなたについて、どのように見えていますか？

私がアメリカへ戻った時、母は既に私がイスラームに改宗したニュースを聞いていました。母は信心深く教養のある女性です。私が家に着いた時、彼女は一つだけ質問をしました：“あなたは突然このような決心をしたの？それともしばらく熟考してから決めたことなの？”私は、“よく考えた後に決めたことです”と答えました。“私たちは宗教的な家族で知られています。私たちが何を手にしようとも、それは神の祝福のおかげです。では、なぜ神に感謝深くないわけがあるのでしょうか？ですから私たちは慈善団体に積極的に参加するのです。私は貧しいアフリカの国々へ薬を特別機で送りました。ボスニア戦争の際、私たちの飛行機は[けが人への]物資の供給に勤しみました。私たちは極貧を目の当たりにしたことがあるので、このようなことに敏感です。私たちはかつて数メートル四方あるかないかの家に住んでいたのですから。

イスラームについてあなたの姉妹で、人気スターのジャネット・ジャクソンと話したことはありますか？

他の家族たちと同様、私の突然のイスラームへの改宗は、彼女にとって大きな驚きでし



た。最初の頃、彼女は心配していました。彼女の頭の中にはただ一つ、ムスリムが一夫多妻制で彼らは4人まで妻を娶るということだけがありました。しかし私がこのイスラームによって保障された許可を現在のアメリカ社会の状態に照らして説明すると、彼女は満足しました。西洋社会で不特定多数の異性と関係を持つことや不貞がよくあることは事実です。結婚しているにも関わらず、西洋の男性は多数の女性と婚外交渉を楽しみます。これは社会の道徳の深刻な腐敗の原因となっています。イスラームはこのような破壊から社会の構造を守っているのです。イスラームの教えによれば、もし男性が女性に感情的に引き付けられた場合には、彼はその関係を正しく、合法的な形にしなければなりません。そしてもしそれが出来なければ、彼は一人の妻だけで満足しなければなりません。一方、イスラームは2番目の結婚において、普通のムスリムではとても満たせないような条件を付けています。2人以上の妻を持っているのは、イスラーム世界において僅か1%ほどのムスリムだけなのです。私の見解では、イスラーム社会の女性は人々の鋭い視線から免れた、大変よく守られている花のようです。にも関わらず西洋社会では、このような正しい知識と哲学への見識が欠けているのです。

ムスリム社会を見ると、どのような感情を覚えますか？

人間性に対するその多大な関心ゆえに、イスラーム社会は地上で一番安全な場所を提供しています。例えば女性を例に挙げましょう。アメリカ人女性は、男性が嫌がらせをしたくなるような衝動にとられる、体の一部しか覆わないような服を着ています。しかしこれはイスラーム社会では考えられないことです。広まった罪と悪徳は、西洋の道徳構造を損なってしまいました。もし人間性がまだ目に見える場所が残っているとしたら、それはイスラーム社会以外のどこでもないとは私は信じます。世界がこの事実を受け入れなければならない時が必ず来るでしょう。

アメリカのメディアに関するあなたの率直な意見をお聞かせ下さい。

アメリカのメディアは自己矛盾に苦しんでいます。ハリウッドの例を見てみましょう。芸能人の状況は乗っている車のモデル、訪れるレストランのランクなどによって計られます。これが人を地の底から天へと押し上げるメディアなのです。彼らは芸能人を人間だとは考えていません。しかし私は中東で多くの芸能人に会いましたが、彼らには誤った傲慢さがありませんでした。

少しCNNでも観てみれば、彼らは世界で起こっているそれらの出来事以外何も起こってはいないのではないかという位に、特定のニュースについてのみ大げさに取り上げています。フロリダの森林火災のニュースは非常に広い放送枠を占めたために、まるで世界全体が火事になったような印象を与えたものです。事実火災によって影響があったのは、実に小規模の範囲でした。

またオクラホマ市で爆弾の爆発が起こった際、私はアフリカにいました。メディアは何の証拠もなく、この爆発にムスリムが関係していると仄めかし始めました。その後、犯人はキリスト教徒であることが判明したのです！！私たちはアメリカメディアのこのような態度を意図的無知とでも呼んだ方がいいかもしれません。

イスラーム的人格とあなたの家族との絆を保つことは出来ますか？

出来ないことがあるでしょうか？この絆は善行の達成のために続きます。

ムスリムになった後、ムハンマド アリー（過去のボクシング世界チャンピオン）に会うことはありましたか？

ムハンマド アリーは私たち家族の友人です。私はイスラームに帰依したのち、何度も彼に会っています。彼はイスラームについて、有益な指導をしてくれました。

ロスアンジェルスシャー ファイサルモスクを訪れたことはありますか？

もちろんです！大変美しいモスクです。私自身同じようなモスクをファリス地区に建てたいとすら思っています。なぜならそこにはモスクがなく、そのムスリム社会もまた、このような上流階級の場所でモスクのために小さな土地を買うほど豊かではないからです。神のご意思と共に、私はそれを実現することでしょう。

イスラームのためにサウジアラビアが貢献していることに関して、どうお思いですか？

サウジアラビアは疑いなく、モスクのための計画に金銭的に可也の財をつぎ込んでいます。しかしこのアメリカのメディアは、サウジアラビアさえ容赦しません。彼らはこの国について大変変わったニュースを広めました。私はサウジアラビアを最初に訪れた時、そこには泥だらけの家に大変悪い通信網しかないというような印象しかもっていませんでした。しかし実際に訪れてみると、大変驚いたことに、そこは世界で最も文化的に美しい国だという印象を受けました。

イスラームに関しては誰に影響を受けましたか？

私は多くの人に影響を受けました。しかし、事実まず聖クルアーンに目を向けたからこそ、私は道から反れる危険を負わないのでしょう。当然有名で素晴らしいイスラーム学者は沢山います。神のご意思と共に、私はサウジアラビアへ家族とウムラ旅行を行う予定です。

あなたの奥様とご子息もムスリムですか？

私には私同様、完全にイスラーム的な7人の息子と2人の娘がいます。私の妻はまだイスラームを学んでいます。彼女はサウジアラビアへ行きたいと強く望んでいます。神のご意思と共に、彼女は間もなくイスラームに入信することでしょう。神が私たちにこの真実の宗教イスラームにとどまる勇気と忍耐力をお与えになりますように。(アーミン)

この記事のウェブアドレス：

<http://www.islamreligion.com/jp/articles/90/viewall/>

Copyright © 2006-2011 [www.IslamReligion.com](http://www.IslamReligion.com). All rights reserved.